

令和3年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

飛騨市青少年育成市民会議

(1) 飛騨市少年の主張大会 6月12日(土)【飛騨市】



市内小中学校8校の代表15名による「少年の主張大会」を実施しました。昨年度は、コロナ禍により主張大会が中止となりましたが、今年度は来場者の人数制限など感染対策を講じながら開催しました。自分のこと、家族のこと、地域のこと、コロナ禍での人との関わり合い、身のまわりの中で感じたことなどを少年らしい言葉で堂々と述べられました。来場できなかった市民の皆さんへ大会でのすばらしい主張をした児童・生徒の皆さんの様子をご覧いただけるよう、市内ケーブルテレビ放映及びYouTube配信を行いました。

(2) 青少年健全育成地区集会のオンライン開催【飛騨市 古川地区】

毎年、飛騨市の古川地区では、学校の夏休みが始まる前に地区ごとに住民を集め、青少年の健全育成について意見交換の場を設け、地域ぐるみによる青少年育成活動に取り組んでいます。昨年度はコロナ禍により集会が中止となりましたが、今年度はコロナ禍だからこそその新たな手法での開催を試みようとして、ZOOMを活用した完全オンラインで集会を開催しました。何もできない、何もしないのではなく、できることをできる方法で集会の開催ができたことに意義があったと感じました。

そして、オンライン集会で語られた内容をまとめたリーフレットを作成し、全戸配布を行うことで集会に参加できなかった方にも情報を伝えました。コロナ禍から新しい手法での開催ができたこと、また直接語り合うことの大切さを感じたことなどの経験を来年度以降に活かし、青少年の健全育成に地域全体で取り組んでいこうと思います。(11月30日)



(3) 青少年健全育成の啓発【飛騨市 河合・宮川地区】

新型コロナウイルスにより、市内の各種イベントが中止や延期または縮小開催になるなど、イベント来場者に啓発グッズを配布する機会が無くなったことから、啓発の手法を変え、地域の青少年健全育成推進員の紹介と、「みんなとおうちで語ろう!!」と題し、年末年始に家庭内で語り合える内容として、交通安全に関すること、スマホ・SNS・インターネットに関することを盛り込んだリーフレットを作成し、住民に広報する形で活動を行いました。(12月)

(4) 地域ぐるみの「ふるさと挨拶運動」【飛騨市 神岡地区】



今年度も新型コロナウイルスによる影響は、地域ぐるみの「ふるさと挨拶運動」にも及びました。毎年、春と秋の2回実施していますが、昨年度同様にマスク着用で感染対策を講じ秋のみの実施となりました。通学してくる児童には頭を下げて挨拶をする子や元気に「おはよう」や「おはようございます」と挨拶する子どもがいます。マスク越しですが子どもたちの笑顔と元気な声に、気持ちよく清々しい朝になりました。(10月18日～22日)